

動物園条例制定に向け検討しています！

令和元年10月から、専門家や市民が参加する動物園条例検討部会で動物園の運営に関する条例について検討しています。その検討状況などをご紹介します。

大人を対象としたワークショップ「動物園の役割について考えてみよう！」

2020年10月25日(日)
13:00～16:00に開催

参加者は、動物の展示や掲示板の情報を調べることで動物園が行う野生動物の保全活動について知り、動物園には「野生動物を守るために何ができるか考えよう」というメッセージを来園者に伝える役割があることを理解することができました。

ワークショップの様子



動物園と野生の動物についての生活の違いや、生息数が減っている理由などをワークシートにメモをとりながら展示場を見学しました。わからないことは飼育員に質問して理解を深めました。

調査した動物	動物園の工夫は
野生下では	
展示場	
飼育員	
生活	
観察上でのポイント	少ななった理由、多くなつた理由

動物を展示する上でやっている工夫や、生息数が減っている理由はどんなことなのか等について各グループの発表を聞き、動物園は来園者に野生動物の保全の必要性に関する情報を発信していることを理解しました。

アジアゾウについての発表(抜粋)

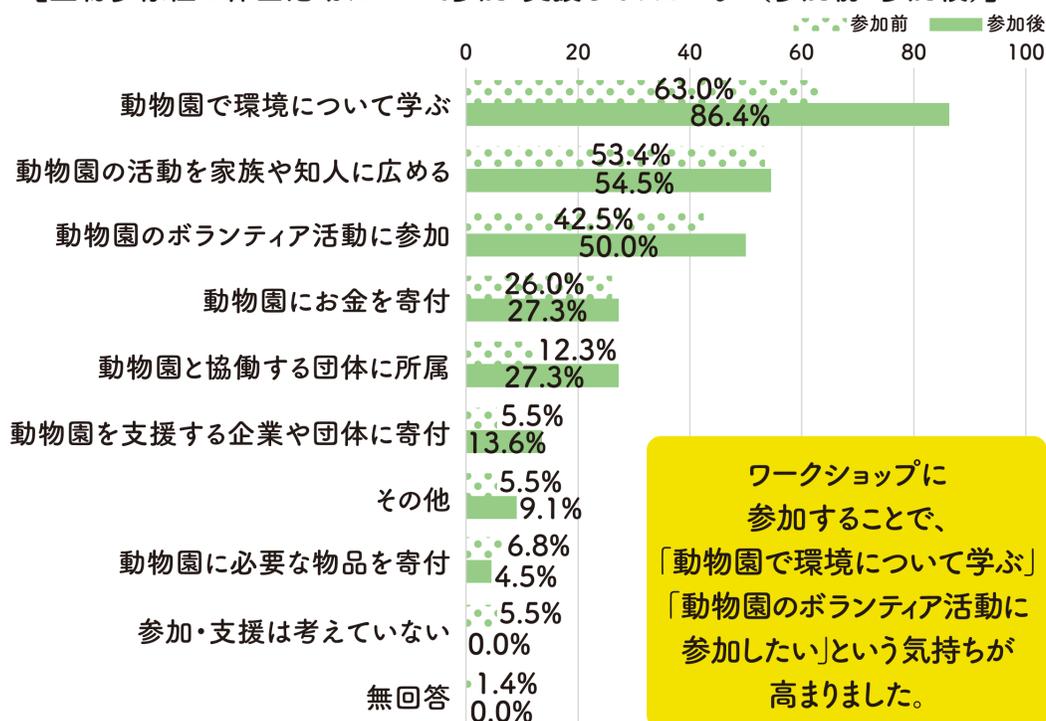
展示の工夫: 床に砂をしき、餌は上からぶら下げて首や肩の筋肉を使うよう、野生を意識した環境を工夫している。

エゾリスについての発表(抜粋)

展示の工夫: 自然木、土など自然環境に近い展示。展示場に植えた植物や花も餌として食べている。

参加者の声

【生物多様性の保全活動について参加・支援してみたいもの(参加前・参加後)】



ワークショップに参加することで、「動物園で環境について学ぶ」「動物園のボランティア活動に参加したい」という気持ちが高まりました。

【ワークショップを体験して感じたこと(抜粋)】

非常に興味深い体験ができ、感動しました。裏側を見ることができ、面白かったです。普段もよく動物園にくるので裏側をもっと知りたいと思いました。また参加したいです。

複数の動物がかかえる問題を知ることができ有意義であったと思います。

直接飼育員の方から話を聞けるきょうな体験だった。

しばらく動物園に来ていなかった。年間パスを利用して通っていた事を思い出し、足を運び、参加できる事もあると改めて思いました。

知らないことが多くあり、勉強になりました。

※ワークショップ「動物園の役割について考えてみよう！」(令和2年10月実施、n=16)より